

「まだまだあります、フランスの魅力・フランス語の魅力！」

外国語教育研究センター
准教授 関 未玲
Seki Mirei



- 『フランス語を知る、ことばを考える』 石野好一著(朝日出版社 2007)
- 『消費社会の神話と構造』 ジャン・ボードリヤール著、今村仁司、塚原史訳(紀伊國屋書店 1995)
- 『パリ 地下都市の歴史』 ギュンター・リアー、オリヴィエ・ファイ著、古川まり訳(東洋書林 2009)
- 『帳簿の世界史』 ジェイコブ・ソール著、村井章子訳(文藝春秋 2015)
- 『美食の歴史』 アントニー・ローリー著、富樫環子訳、池上俊一監修(創元社 1996)
- 『辻公園』(『アンデスマ氏の午後 辻公園』所収) マルグリット・デュラス著、三輪秀彦訳(白水社 1985)
- 『めす豚ものがたり』 マリー・ダリュセック著、高頭麻子訳(河出書房新社 1997)
- 『警察調書: 剥窃と世界文学』 マリー・ダリュセック著、高頭麻子訳(藤原書店 2013)
- 『小川』 キム・チュイ著、山出裕子訳(彩流社 2012)
- 『恋愛のディスクール・断章』(新装版) ロラン・バルト著、三好郁朗訳(みすず書房 2020)

2020年度開設の外国語教育研究センターで仏語教育に携わっているが、フランス語は難しいと言う声をよく聞く。難しさには、納得できる理由があることを教えてくれるのが 1 である。冬のパリを訪れると、滞在中一度も晴れ間を見ずに帰国することがある。2 は消費社会における現実らしさと現実との乖離を、構造から解き明かした1冊だが、「大気の明るさが50年間に30%も低下したパリ環境の変化も詳らかにしてくれる。パリと聞いて、地下通路を思い浮かべる人はいるだろうか。かつて採石場だったパリの地下は穴だらけで、迷路のように道が張り巡らされていると言う。地下好きでなくとも、3 はたまらない。4 では浪費家として知られる太陽王ルイ14世が、コルベールの存命中には複式簿記を学び、財政管理に関心を持っていたことが紹介されている。歴史の「もしも」を想像せずにはいられない。フランスの美食文化を「総合芸術」と位置づける 5 によれば、食を愛する文学者たちがこぞって著作のなかで食を描写したことが、美食学に大きな貢献を果たした。作家デュラスも食を愛した一人で、

レシビ本も刊行されている。デュラスの文学作品である 6 では、行商人の男と、ベビーシッターとして働く若き女性が公園で出会い、見知らぬ者同士の当り障りのない会話を通して、互いの人生そのものに触れる様が描かれる。会話が詩となり、物語となる瞬間に立ち会える。デュラスからの影響を公言するダリュセック著の 7 は、「狼男」などのいわゆる変身譚に分類される物語だ。身体の変化と向き合う主人公の感情に、なぜこんなに共感し得てしまうのか。繊細な心の動きに言葉を与えてゆく作家に脱帽する。7 の邦題がトリッキーなので 8 も紹介したい。剥窃疑惑をかけられたダリュセックの渾身作で、2年をかけて剥窃文学史とも呼ぶべき本書を上梓した。9 はベトナムからフランス語圏ケベックへ亡命したチュイの自伝的作品で、世界を捉える作家の眼差しに胸を打たれる。10 は文学理論書を、物語るように記すこともできるのだと示した一冊である。いずれもフランスやフランス語の、枠を優に超えてゆく創造の可能性を示唆してくれる作品ばかりである。

Information

図書館HP

本日のお知らせ

2021/06/01(Tue)

地蔵原書庫 9:00-19:00 (Open for University members)

新館図書室 9:00-19:00 (Open for University members)

MyLibrary

立教大学学術成果

立教大学図書館

図書館HP

図書・資料を検索する

OPAC 要書検索 READ 総合検索

検索

レポート・論文FAQ

「レポート・論文FAQ」を公開しました。ラーニングアドバイザーに寄せられた質問と回答がまとまっています。

悩んでいることは同じかもしれません。レポート・論文作成に困ったら確認してみてください。

図書館クイズラリー 2021 (本誌50号) 正解発表はこちら



ラーニングアドバイザーへのご相談もお気軽にどうぞ <http://s.rikkyo.ac.jp/LA>

Your Library 第51号 (通号110) 発行日 2021年9月20日

編集 ライトナー カトリン J. (図書館副館長) <http://library.rikkyo.ac.jp/>
 発行人 森 聡美 (図書館長) 連絡先 TEL 03-3985-2628
 発行 立教大学図書館 印刷 立教プリンティングステーション



Your Library

Rikkyo Library

No.51
2021.9.20
ISSN 1883-1303

立教大学図書館だより

オンラインで
大学図書館を
持ち運ぼう



読書ナビ
関 未玲 准教授
Seki Mirei
外国語教育
研究センター

Database

学内外から

オンラインコンテンツを活用しよう!

ebook

大学内はもちろん、自宅など学外からも様々なオンラインコンテンツを利用できます。図書館が有する豊富なebook、データベースを使いこなして、レポート・論文作成などに使える参考資料を集めてみましょう! 立教大学図書館が契約しているオンラインコンテンツの使い方を紹介します。

※2021年9月20日現在の利用方法です。

データベースを見てみよう

図書館では150件超のデータベースを契約しており、信頼性の高い情報を提供しています。様々なデータベースを目的に合わせて選んで、必要な情報を多角的に効率よく集めましょう。

オンラインコンテンツを学外から使うには

Proxy接続設定することで学外からもアクセス可能なデータベースやオンラインジャーナル、ebookが数多くあります。活用して課題、学習、研究にお役立てください。



Proxy接続手順



1 オンラインデータベースにアクセスする

図書館HP上部「探す・調べる」を選択し、リサーチツールの一覧から、「JapanKnowledge Lib」を選択し情報収集をしてみます。「JapanKnowledge Lib」は、日本有数の百科事典や辞書類が持つ膨大な情報を一括で検索できるデータベースです。

ワンポイント

データベース名での検索だけでなく関連語句での検索も可能です。また「目的別」、「学部別」のタブで必要なデータベースを探すこともできます。

2 基礎知識を得る

あるテーマについて調べるとき、まずは概要や定義、通説を押さえることが重要です。今回は「Diversity」について調べてみましょう。見出し検索を用いて『日本大百科全書』や『イミダス』などで確認してみましょう。

3 他の関連情報との関係を掴む

全文検索を活用することで、多くの見出し項目の解説記述に「Diversity」が含まれていることがわかります。これらの関連する情報をまとめると「Diversity」を様々な角度からとらえることができます。



4 他の情報源も参照する

整理した情報やキーワードを使って、他の情報源も参照し、より深く調べてみましょう。専門的なデータベースが多数あるので、リサーチツール内を是非チェックしてみてください!



その他のデータベース



リサーチツール

新聞記事なら... 『聞蔵II ビジュアル』、 『ヨミダス歴史館』、 『日経テレコン21』など

論文なら... 『CiNii Articles』など

企業研究なら... 『東洋経済デジタルコンテンツライブラリー』など

READから探す

READ (Rikkyo Educational and Academic Discovery Service)を使うと、図書、雑誌論文、英字新聞、辞書・事典、ebookなどの情報を、かなり古いものから網羅的に検索することができます。

1 図書館HPから[READ統合検索]タブを選択

2 検索語「21世紀の資本」で検索

3 READの検索結果左側の「絞り込み」で、「本文あり」と「図書・電子書籍」を選択し対象を絞り込む
「オンライン」マークのある資料については、ebookでの閲覧ができます

4 当該資料のタイトルをクリックする

5 “閲覧”ボタンをクリックし、本文を閲覧

ワンポイント

READでは朝日新聞以外の国内新聞記事や統計情報、法令判例といった情報は検索できませんので、個別のデータベースで検索する必要があります。



ebookを見てみよう

図書館で利用できるebookのプラットフォームには、『MARUZEN eBook Library (以下、MeL)』や『KinoDen』などがあります。シラバスのテキストや参考文献、外国語リーダーについてもebookで閲覧可能なコンテンツが多数あります。

学外からもラクラク利用

MeLとKinoDenはProxy接続設定していないスマホなどの機器からも、V-CampusID/PWのみでシングルサインオン*することができます。 ※一つのID/PWでさまざまなシステムが利用可能であること



MeL利用マニュアル



KinoDen利用マニュアル

外国語リーダーをスマホで読む

MeLでは外国語リーダーも閲覧することができます。

図書館HP上部「探す・調べる」を選択。「サーチガイド」にPDF内のリンクからebookのプラットフォームへアクセスできる「ebookが利用可能な外国語リーダーリスト」を掲載しています。授業に、継続学習に、是非活用してください。

